クリーンセンター発煙・火災事故対策における松下玲子市長の姿勢に対して猛省を求めるとともに、徹底的な原因究明と再発防止策を求める決議に対する反対討論

笹岡ゆうこ

まず、クリーンセンターは、周辺住民のご理解とご協力あって成り立つ施設であり、自分の家の近くの大きな施設があり、その施設で半年に５回も消防車が何台も来て道路が閉鎖される事態があっては、かなりのご不安であることは察するに余りあります。

全力をあげて対応すべきことは、当然やるべきことだと考えます。

この決議を見てみると、質問をした議員が「市長は、クリーンセンターで５度も火災が発生したことを正常なことと思っているのか」という旨をただしたところ、市長から「正常か異常か判断することではない」との発言があり、責任感に欠けるというご指摘です。

私も実際に一般質問を聞いていて「ん？」と思ったため、議事録を取り寄せました。

議事録によると「この今の運営状態、これが正常な状態だと考えているのか」と聞いています。これに対し、松下市長は「議会及び市民の皆様にご心配をいただいていることについては解決していかなければならないが、これを持ってクリーンセンターが正常か異常か、この２つのどちらかに判断することではない」と答弁しています。

この５回の家事は異常事態であることは確かです。

事象・事態として異常であると考えます。

しかし、クリーンセンター全体の運営状態を聞かれると、難しいのだと思います。

しかも、直前には「事業者のペネルティを科すおつもりはないのか」といった質問もあり、この質疑と答弁がうまくかみ合わなかったのだと思います。

ご指摘の１日目の市長答弁は、対策について、「さらなるスプリンクラー設置」「市民へのPRを強くする」「駐車場西側からの進入方法を検討する」「消防とも協議する」「発煙のあったコンベヤーは事業者の責任で改修する」というものであり、「市の責任者としてあまりに人ごとのような」「責任感にかける答弁」という指摘にはあたらないと考えます。

また、市長の姿勢では、職員の再発防止に対する士気が下がるという決議の指摘については、これは職員のせいにしたらそうなるかもしれませんが、職員の皆さんは、常日頃から行政としてのプライドを感じる仕事ぶりです。

このクリーンセンターの安全管理についても、責任感と危機感を持って取り組まれていると思います。

徹底的な原因究明と再発防止策を求めることについては賛同しますが、決議５パラグラフ中４パラグラフが市長の責任感のない姿勢を正すものであり、改めて答弁を読み直すとそうではないと考えるため、決意には賛同しかねます。

しかし、周辺住民の不安により一層寄り添う姿勢で、市民が出すゴミを市が搬入し、事業者が適切な処理をすることが大切です。

ボンベと電池が入ったセットコンロ等をそのまま捨てないのはもちろん、家電に内蔵されたリチウンイオン電池を正しく捨てる市民意識の啓発をはかり、施設としても安全な稼働に最善を尽くすことは、市全体で協力してやっていかなければならないということは明白だと考えます。

以上のことから、決議には反対の討論とします。